

こんにちは 森林官です!

十勝西部森林管理署 八千代・上札内森林事務所
森林官 黒田 大樹 (写真左側)



【地域の紹介】

八千代・上札内森林事務所が所在する中札内村は、帯広市から車で南方へ約 30 km、人口約 3,800 人の小さな村です。主要産業は農業で、ピーナッツ、枝豆、ジャガイモなどを作っています。

また、大規模な養鶏場や十勝菓子の大規模工場があるほか、唐揚げがとても美味しい「道の駅」もあるため、旅行者などで賑わうなど、小さいながらも活気ある村です。



(中札内村の全景)

【森林事務所の概要】

私が担当している八千代・上札内森林事務所は、帯広市、芽室町、中札内村、更別村の国有林を管轄しており、北海道の背骨日高山脈の東側に位置し、北海道百名山の十勝幌尻岳や札内岳が有名です。また、豊かな自然が多く残っている地域で、希少動植物の生息地になっていることもあり、令和 6 年には国立公園に指定されました。



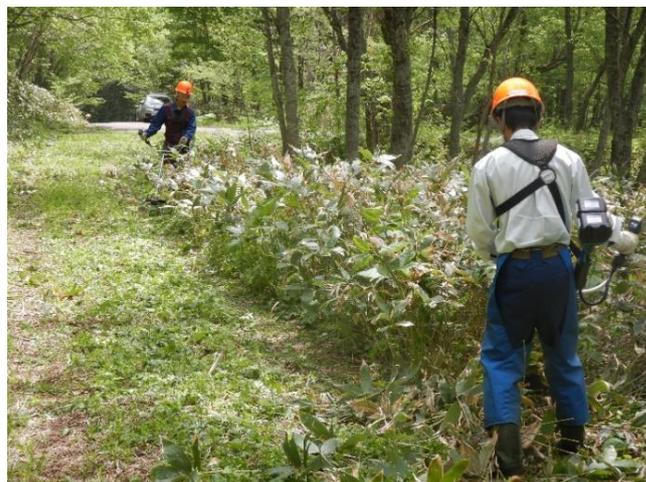
(奥の日高山脈の山麓が八千代・上札内国有林)

【森林事務所の仕事】

現場業務は、森林調査、境界管理、請負監督など多岐にわたりますが、そのうちのひとつとして、林道の除草作業を紹介します。

担当する国有林は、全域にクマイザサが密生していて、放置すると全てを覆ってしまいます。

林道の見通しも悪くなるため、定期的に電動刈払機で除草し視界を確保しています。



(森林事務所総動員で草刈り)

【最後に】

転勤してきて 2 ヶ月が経ちますが、山の空気に元気をもらいながら、楽しく仕事をしています。

そんな中、日々現場に出向くに当たりひしひしと感じる事があります。それは、これまでの勤務地に比べ、あきらかに希少な動物によく遭遇するという事です。太古からの豊かな自然が残っている証だと感じます。

この豊かな自然を後世に残していくため、希少な動植物の保護にも力を入れ、人間と希少動植物が共存できる山づくりを目指し、国有林として何ができるか考え、たゆまぬ努力を続けていきたいと思っています。